あおぞらニコニコ通信
令和５年度９月号

社会福祉法人三田谷治療教育院　明石市立あおぞら園・きらきら
〒674-0092 明石市二見町東二見 1836 番地の 1
ふれあいプラザあかし西 ２階
TEL. 078-945-0280 FAX. 078-945-0281
E-Mail : aozorakirakira@sandaya.or.jp
あおぞら園 QRコード

いつも笑顔！　飯塚園長ごあいさつ

スロラニュ小学校運動会後の集合写真（右：飯塚）

最近、世界中で山火事が起こり、多くの亡くなる方や家を失う方たちが、いらっしゃいます。数年前は地震に脅かされたと思うと、最近は、大雨・山火事・干ばつと、自然災害が頻発しています。これも地球温暖化が原因と言われています。世界では戦争もなかなか終結しません。これからを生きていく子ども達の為にも、私たち大人が何らかの手立てを早急に行う必要性を痛感しています。

私は、NPO 法人スロラニュプロジェクトという主にはカンボジアの子どもたちの支援を約 10 年ほど続けています。その目的にも「平和」を目指しています。大きなことはできませんが、常に意識することから始まると思います。未来を背負う子どもたちのために、関心を持つことから始めませんか？

９月 30 日に明石障がい者地域生活ケアネットワーク（135E ネット）主催で「あかしに集まれみんな本気フェスタ」をアスピアで開催いたします。障害のある人もない人も共に生きていくことを目指すイベントです。この時には、「フードバンクはりま」様が、家に余っている賞味期間内のものを持ち寄っていただくブースをアトリュウムコートで出店しています。ぜひ、ご協力お願いいたします。

これも物を大切に無駄をなくすことにつながるため、大切な活動だと思います。一歩、歩みを進めてみませんか？

明石市立あおぞら園の業務継続計画（BCP）について

園内の安全点検を行う吉川副施設長

「BCP（Business Continuity Plan、事業継続計画）」とは、大規模な自然災害や感染症の流行などで事業所のサービスの提供が困難になった場合に、利用される方の不利益や業務の中断などの影響を最小限におさえ、必要な人材を確保しつつ、素早い復旧を実現するための方法について細かく定めた計画のことです。国により、令和 6 年度からこの計画書を作成して職員に研修を実施し、訓練（シミュレーション）すること等が義務付けられました。

あおぞら園・きらきらでも、新型コロナウィルス感染症に対する BCP を作成し、令和 3 年度から感染症が発生した際に活用しています。加えて、南海トラフ地震の発生なども危惧されることから、大規模な自然災害が起きた場合の BCP も明石障がい者地域生活ケアネットワーク主催の研修会に参加したりしながら作成しているところです。

危機的な状況が起きないに越したことはありませんが、国際情勢などをみても何が起こるかわからない時代ですので、あおぞら園・きらきらとしても万が一の事態に備えておきたいと思います。

（副施設長 / 公認心理師：吉川）

障害のあるなしに関わらず、だれもが楽しめるプール♪

７月にお子様と保護者の方と一緒に明石海浜プールに行ってきました。

今回は明石市より、障害のある子どもたちが明石海浜プールを利用していくにあたり、どのような配慮が必要なのかを把握するために体験会を開き、あおぞら園の子どもたちが招待されました。

当日は緊張をした表情のお子様もいましたが、大きな混乱もなく参加することができました。初めて大きなプールで遊ぶお子様もいましたが、少しずつ慣れて全身で水に触れて遊ぶことができていました。特に大きなバケツから水が降ってくるコーナーでは、サイレンが鳴るとビックリした表情を見せていたお子様も、たくさんの水が降ってくる合図であることが分かると笑顔で楽しんでいました。

今後も今までしたことがないような経験を安心できる人と一緒にできる機会が増えればと思います。また、保護者の方も気兼ねなく色々な場所にお子様を連れて行くことができるような社会になっていくように少しでも貢献できればと思いました。（大向主任）

海浜プールにてお子様と一緒に楽しむ大向主任

西二見漁業協同組合のご協力で初体験！～魚のタッチプール体験～

８月２日（水）に西二見漁業協同組合の山本組合長ご協力のもと、海の生き物を生きたまま見たり、触れたりするタッチプール体験会をあおぞら園のお子様限定で開催していただきました。

初めて間近で見る生き物に怖がったり、興味を持って手を伸ばしたりとお子様の反応は様々でした。山本組合長や組合員の方が触って見せてくださったおかげで、自分から手を伸ばし、触って笑顔を見せるお子様の姿も見られました。その時の表情はとてもきらきらしていて、改めて本物に触れること、新しいことに出会うことはお子様たちの成長過程においてとても大切な経験だと感じました。

今回、このような機会をいただいた山本組合長からは「明石の海を知ってほしい」「好きになってほしい」と言っていただき、職員だけではできない貴重な体験をさせていただきました。今後も地域の方とのつながりを大切にし、本物に触れる機会を作っていきたいと思います。（泉川主任）

組合員の方と楽しんで、ヒトデをつかむお子様

明石に集まれ！みんな本気フェスタ～明石最大！？のユニバーサルイベント～

特定非営利活動法人明石障がい者地域生活ケアネットワーク（通称 135E ネット）主催、明石市委託事業のユニバーサルイベント＂あかしに集まれ！みんな本気フェスタ＂が 2023 年 9 月 30 日（土）にアスピア明石 1 階アトリウムコート（ブース）とアスピア明石北館 9 階子午線ホール（ステージ）で開催されます！

今回も多種多様な方々に、ご参加＆ご出演いただき、「障害があってもなくても＂本気＂を出せる社会は素晴らしい」を感じていただけるイベントとなっております。皆さまとともに明石市が＂真にやさしいまち＂となるように様々なアクションを起こしていきたいと思います。（服部）

本フェス初出演のリピート山中様